

ただいま、アプライドにて

# DGX Spark ご案内可能

超小型AIスーパーコンピューター  
「EdgeXpert」最新モデルを  
台数限定の特別価格で受注開始!



※ご注文後のお取り寄せとなります。※お1人様2台まで購入可  
※EdgeXpertは、DGX Sparkプラットフォームをベースとした同スペックの製品です

## 世界に衝撃を与えた小型スパコン



圧倒的な性能 × 手軽な小型筐体

MSI EdgeXpert は、約 30cm 四方のコンパクト筐体に、NVIDIA「GB10 スーパー・チップ」を搭載したエッジAIデバイスです。省スペース設計でありながら、大規模サーバー級のAI処理を現場で高速に実行できます。GB10 スーパー・チップは、高効率なAI推論や画像解析に最適化された最新プロセッサで、リアルタイム処理が求められるロボティクスや映像AIに強みを発揮します。



- アーキテクチャ: NVIDIA Grace Blackwell
- GPU: NVIDIA Blackwell アーキテクチャ
- CPU: 20コアArm (10 Cortex-X925 + 10 Cortex-A725)
- CUDAコア: NVIDIA Blackwell
- Tensorコア: 第5世代
- RTコア: 第4世代

- Tensorパフォーマンス: 1000 AI TOPS
- システムメモリ: 128GB LPDDR5x  
-統合システムメモリ
- メモリ帯域幅: 273GB/s
- ストレージ: 4TB NVME.M2 (選択可)
- USB: 4× USB Type-C
- 1年保証標準付属

### MSI EdgeXpertの活用が予想されるシーン



#### 研究・教育機関

- 大学院レベルのAI研究プロジェクト
- 学部生向けAI実習環境の構築
- 産学連携研究におけるプロトタイプング



#### 製造業

- 画像検査AI、予知保全システムの開発
- 生産計画最適化、品質管理AIの構築
- 設計データを活用した生成AI開発



#### 金融業

- 顧客対応チャット、与信判定AIの開発
- リスクマネジメント、不正検知の構築
- 投資、市場分析AIの研究開発



#### 医療分野

- 医療画像診断支援システムの開発
- 薬剤師支援AI、モニタリングシステム
- 創薬支援、バイオインフォマティクス

# EdgeXpert に搭載された革新的なテクノロジー



## NVIDIA GB10 Grace Blackwell Superchip

EdgeXpertの頭脳となる、CPUとGPUが一体化した新しいパーツの形



**インターフェース**  
Wi-fi, Bluetooth, USB

**ConnectX**  
2台のDGX Sparkを接続

**4TB SSD**  
容量は1TBと4TBを選択可能

### Grace Blackwell Superchip

**Blackwell GPU**  
最大1,000TOPSのAI性能

**Grace CPU**  
20コアのArmアーキテクチャ

**ユニファイドメモリ**  
CPUとGPUを合わせた128GBメモリ  
※CPUとGPUの一体型メモリ=ユニファイドメモリ

一般的なパソコンがCPUとグラフィックボードで別々の部品を搭載しているのに対して、EdgeXpertは一つの部品で2つの役割を兼ねています。GPUは最新のNVIDIA Blackwellを、CPUにはintel、AMDに次ぐARM社製の20コアCPUを採用しています。それら2つをNVIDIAの最新技術で繋ぐことによって、CPUとGPUがメモリを共有することができるようになりました。

### AI演算性能(TOPS)での比較



### EdgeXpertは最大1000TOPS… つまり1秒間に1000兆回もの AI演算が可能なモンスターのスペック!

左のグラフを見て分かるように、コンシューマークラスのハードウェアで比べてもEdgeXpertは圧倒的なAI性能を保有しています。このAI性能を表すTOPSという単位を知る上で一つの指標になるのは、Microsoftが発表したCopilot+ PCの性能要件である「40TOPS」という数値です。これは1秒間に何兆回の演算ができるかを示す指標であり、40TOPSは1秒あたり40兆回の演算が可能で、EdgeXpertは1秒あたり1000兆回のAI演算が可能であることを示しています。

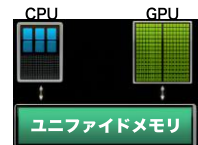
※AI性能を測る指標として「TFLOPS」という浮動小数点演算回数を示す単位がありますが、近年では学習には浮動小数点演算を使うものの、推論には整数演算を使うようになったため、整数演算の性能を示す「TOPS」も重要とされています。



## 128GBのユニファイド・システム・メモリ

メインメモリ(RAM)とGPUメモリ(VRAM)が統合された革新的なメモリ

RAMとVRAMが統合されたメモリだからこそできる、100GB相当の圧倒的なグラフィックメモリ容量! コンパクト筐体のEdgeXpertでも、ハイエンドワークステーション並みのAIモデルサイズに対応!



ここでのポイントは、メモリ容量をメインメモリではなくグラフィックメモリで見ることです。例えばワークステーションに採用される「RTX PRO 6000」はGPUメモリが96GBのため、EdgeXpertはそれを上回ります。例えばRTX5080はGPUメモリが16GBしか搭載していないため、AI推論には向いていないことが分かります。

最終的に比較する必要があるのは、この表にある製品の価格差です。これまで大規模なAIモデルを処理するためには、必ず高価なハイエンドマシンが必要になっていましたが、EdgeXpertは非常にお求めやすい価格で導入することができます。これが、EdgeXpertが「家庭用スパコン」と言われる一番の理由です。